

バンダイナムコグループ、経済産業省「GXリーグ」に参画  
カーボンニュートラル実現に向けた知見や技術を蓄積し、  
省エネルギー施策のさらなる推進や再生可能エネルギーの導入などを促進

株式会社バンダイナムコホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：川口 勝）は、経済産業省による「GXリーグ」（※）に正式に参画しました。

バンダイナムコグループは、パーパス『Fun for All into the Future』のもと、サステナビリティのローガンに「笑顔を未来へつなぐ」を掲げ、特に重点的に取り組む必要がある5つのテーマをマテリアリティ（重要課題）として特定し、サステナブル活動を推進しています。



そのマテリアリティの1つである「地球環境との共生」においては、脱炭素社会への取り組みを重要課題の1つと位置づけており、自社拠点（社屋、自社工場、直営アミューズメント施設等）におけるエネルギー由来の二酸化炭素排出量を2030年までに2019年度比35%削減、2050年までには実質ゼロにすることを目標としています。

当社は、このたび「GXリーグ」に参画することにより、バンダイナムコグループ全体でカーボンニュートラル実現に向けた知見や技術を蓄積していくとともに、省エネルギー施策のさらなる推進や再生可能エネルギーの導入などを進めていきます。

（※）「GXリーグ」（GX：グリーントランスフォーメーション）は、2050年カーボンニュートラル実現と社会変革を見据えて、GXへの挑戦を行い、現在および未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が同様の取り組みを行う企業群を官・学と共に協働する場として経済産業省により設立されました。

※プレスリリースの内容は、発表日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。

株式会社バンダイナムコホールディングス サステナビリティサイト

<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/index.html>

経済産業省 GXリーグ公式サイト

<https://gx-league.go.jp>